

選択したシラバスのプレビュー画面です

平成27 年度

！ 操作ボタン

講義科目名称：パワーアッププラクティス講座Ⅰ（子どもイベント編）

授業コード：80127

英文科目名称：---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
前期	演習	2単位	
曜日時限			
前期：曜無時無			
配当学科・学年			
文1、教育1、人間1、薬2			
担当教員			
長瀬 美子、岡島 克樹			

授業テーマ	グループで子育てをテーマにしたイベントを企画することをつうじて、社会課題に対する当事者意識と社会人・市民として求められる基礎力を養う。
講義概要	今日の社会は急速に変化し、知識の賞味期限がこれまでになく早く訪れる時代が到来している。そのような社会にあっては、（過去や現在の研究者の研究成果である「専門知識」を学ぶことはなお大事なことであるが、同時に）自分で課題を探し、それをどのように解決するのか、他人と協働しながら考え抜き実施していく「社会人基礎力」あるいは「ジェネリックスキル」と呼ばれる技能がますます求められるようになってきている。そのため、本講座は、アクティブラーニングとして授業展開し（１）「考える」ということとはどういうことなのかを改めて考える講義を行うのみならず、（２）実際にグループで考え抜くという経験をする機会を提供する。より具体的には、テキストにあるフォーマットにしたがって子ども達を対象としたイベント案をグループで企画し、結果を発表し、コメントを得て、また考え抜くというプロセスを体験する。
到達目標	（１）社会人基礎力、とくに「考える力」とはどのような要素から成り立ち、どうすれば向上させることができるのかを理解できる。 （２）「よい」企画とは何かを理解して、それにもとづいて企画を立てることができる、（３）自身の社会人基礎力について評価し、今後どのように向上させていくのか、PDCAできる。
評価方法	（１）授業２日目最後に行う確認テスト（３０％） （２）授業３日目に行うグループ発表（３０％） （３）個人レポート（４０％）
評価基準	（１）社会人基礎力や、とくに「考える力」の重要性や構成要素について説明できる。 （２）企画の評価５原則（関連性・有効性・効率性・インパクト・自立発展性）や他の重要な基準を理解し、それらを満たす企画を立てることができる。 （３）自分自身の社会人基礎力について評価し、今後どのようにそれを伸ばしていくのか、明確な目標を立てることができる。
テキスト	受講者には文部科学省「平成２０年度戦略的大学連携支援事業」選定「実践力のある地域人材の輩出」プロジェクト共同キャリア教育・FD委員会編（２０１０）『パワーアップ・プラクティス講座 ワークブック こんな子どもイベント ほしかってん』を無料配布する。
参考書	必要に応じて紹介する。
履修上の注意	（１）本講座は集中講座として開講され、７月４日（土）に１回目から５回目を、合宿研修として８月８日（土）～８月９日（日）に６回目から１５回目を実施する。合宿研修（場所は学内ウェルネスセンターを利用）にはシーツ代４３２円と夕食代５００円、計９３２円が必要で、７月４日に徴収する。当日はおつりのないようにつけてください（朝食や昼食は各自コンビニ等で購入してください）。 （２）本講座には定員がある。定員を超過した場合、抽選を行うことがある。毎年、抽選を行って選抜したにもかかわらず、初回の授業すら欠席する学生がいる。抽選により受講できなくなった学生の気持ちを思いやり、目的意識をもって受講するようにしてください。
準備学習	合宿研修前に行う宿題を出すことがあるので、その場合は自宅で準備してください。
オフィスアワー等	授業中ないしは終了時に質問に対応する。
備考・メッセージ	（１）本講座は、講義もあるが、グループワークを軸として展開されるものである。グループに対して一人ひとりが持つ役割や責任を意識しながら講座に臨んでください。 （２）本講座にはその発展編として「ＰＰ講座ⅠⅠ（思考編）」という講座がある。この講座はさらに論理的思考力を磨くチャンスを提供する目的で開講され、本学も加盟する南大阪地域大学コンソーシアムを構成するさまざまな大学の学生が一緒になって学ぶ科目である。本学の教員も講師陣にはいて指導を担当しているので、ぜひ安心して参加するようにしてください。

授業計画					
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標	
1	演習	岡島	オリエンテーション・「子育て資源の最近の動向」と題するレクチャー<7月4日>	本講義の学習到達目標とスケジュールが理解できる。	
2	演習	岡島	班分け・アイスブレイク<7月4日>	ともに学ぶ仲間のことを知り、学習共同体の基礎をつくることできる。	
3	演習	長瀬	子どもイベントに関するビデオ視聴およびその解説（１）<7月4日>	子どもイベントとはどのようなものか、とくに発達段階に応じたさまざまな工夫という観点から理解することができ。	
4	演習	長瀬	子どもイベントに関するビデオ視聴およびその解説（２）<7月4日>	子どもイベントとはどのようなものか、とくに発達段階に応じたさまざまな工夫という観点から理解することができ。	
5	演習	長瀬	子どもイベントについて学んだことを自己化するためのふりかえりセッション<7月4日>	子どもイベントとはどのようなものか、とくに発達段階に応じたさまざまな工夫という観点から理解することができ。	

6	演習	長瀬・岡島	徹底分析シートへの記入<8月8日>	イベントを企画する前提である子どもイベントとは何か、その社会的な期待やライバルなど、基本情報を整理して認識できる。		
				チームでコミュニケーションをとり、1つのことに取り組むために必要なものとはなにかが理解できる。		
7	演習	長瀬・岡島	徹底分析シート・企画シートへの記入<8月8日>	イベントを企画する前提である子どもイベントとは何か、その社会的な期待やライバルなど、基本情報を整理して認識できる。		
				チームでコミュニケーションをとり、1つのことに取り組むために必要なものとはなにかが理解できる。		
8	演習	岡島	「「考える」とは何か」と題するレクチャー<8月8日>	論理的思考とはどのようなものか、「分ける」「広げる」「確かめる」という3要素を踏まえ、簡潔に説明できる。		
9	演習	長瀬・岡島	企画シートへの記入<8月8日>	子どもイベント企画に必要なさまざまな事項に注意しながら、企画することができる。		
				チームでコミュニケーションをとり、1つのことに取り組むために必要なものとはなにかが理解できる。		
10	演習	長瀬・岡島	プレゼンテーションシートへの記入・発表<8月8日>	発表に必要な要素（5W1H）とはなにかが実感をもって理解できる。		
				チームでコミュニケーションをとり、1つのことに取り組むために必要なものとはなにかが理解できる。		
11	演習	長瀬・岡島	「パワーポイントの作成のコツ」と題するミニレクチャー・パワーポイント作成<8月9日>	発表に必要な要素（5W1H）とはなにかが実感をもって理解できる。		
				パワーポイントによる発表技術が向上する。		
12	演習	長瀬・岡島	発表練習会・教員コメントの付与・「「よい」企画とはなにか」と題するミニレクチャー<8月9日>	パワーポイントによるよい発表とはどういうものか、知識を獲得できる。		
13	演習	長瀬・岡島	パワーポイントの修正<8月9日>	パワーポイントによる発表技術が向上する。		
				チームでコミュニケーションをとり、1つのことに取り組むために必要なものとはなにかが理解できる。		
14	演習	長瀬・岡島	最終発表会（外部講師によるコメントを含む）<8月9日>	パワーポイントによる発表技術が向上する。		
				チームでコミュニケーションをとり、1つのことに取り組むために必要なものとはなにかが理解できる。		
				子どもイベントに関する地域のニーズ、子どもイベントの奥深さについて認識できる。		
15	演習	長瀬・岡島	ふりかえりセッション<8月9日>	自身が本講義全体の学習到達目標をどのくらい達成できたのか、より明確に認識できる。		
				今後、大学における学びの設計に本講義での経験を生かせるよう計画できる。		

授業方法					
学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)	

閉じる